

# Talk about

と〜くあぼうと



七尾市長 武元 文平

## 「友好都市、大連市金州区に学ぶ」

金州区は今、建設ラッシュである。四車線の高速道路は、車であふれ沿線は取り壊される古い家と建設中のマンション群が続いている。見学した経済開発区の日系企業には6200名が働き、製造された電子部品は世界の自動車工場へ出荷されている。さらに、新たな工場用地も造成中である。この経済発展によって金州区は大きく変貌した。この大きな発展をもたらした原因はなんだろうかと考える。

労働者の賃金が安い、土地が広いだけではない。世界の工場といわれる中国には、「一人っ子政策」で子どもを一人しか産めない。両親と四人の

祖父母が一人の子どもを育てることになる。親の収入の半分以上を子どもの教育にかけるといわれる。幼稚園から英語やピアノ等、習い事は普通だそうで、一人っ子政策で育つた子どもが28歳になった。高校進学率96%、大学進学率96%、若い優秀な労働力が世界の工場を支えているのである。

金州高級中学校(高校)を見学した。生徒数3500名。今年は北京大学や清華大学等有名校へ卒業生の42%が入学したという。授業時間は午前7時から午後5時まで。校

舎もグラウンドも日本の国立大学並みで、マンシヨンのような寄宿舎(棟)も生徒用、教師用があり、密度の濃い教育が行われている。一年生の日本語の授業を見学したが、敬語の使い方や「〜さえ」「〜かぎり」といった日本人でも使い方が難しい言葉づかいや文法の授業だった。「市長はどんな中国語を知っていますか」と質問され、生徒の学ぶ意欲とレベルの高さに驚いた。

古くから科挙制度で優秀な人材を育てた中国である。「いかに貧しくても、苦しくても将来のため子どもにより教育を受けさせたい」と苦勞している親の姿をみて育つた子どもはそれに応え、報いるために更に努力し、頑張る。そんな中国人の教育への考え、意欲、投資が今日の中国の発展、躍進の原動力であろう。学ぶことの多い金州区訪問でした。

市長へのメール「前略、市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんから市長へのご意見・ご質問などをお待ちしています。

## 市長談話室

開催日程

11月27日(火) 15:00〜17:00

会場：能登島市民センター

1階応接室

※公務により、中止になる場合があります。

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課 ☎53-1112

子どもからお年寄りまで、どなたでも談話できます。気軽に、市政に対する提言やアイデアをお聞かせください。

☆お申し込みは1週間前までにお願いたします。また、お申し込み多数の場合は、抽選になります。

### 「市民のねがい」

なぜなに「ラム」⑩

〜七尾市の豊かな未来〜

「市民のねがい」フレンドシップキルトには、家族の愛やふるさとの愛に包まれて心豊かに成長した子どもたちが、未来に続く架け橋となつてほしいという願いが込められています。また、下記作品は「市民のねがい」夏休み応募作品の1つで、次代を担う子どもたちが「市民のねがい」に触れて、何かを感じとつてくれることを期待して行いました。

子どもたちが、「任んでいることに誇りと夢をもてる七尾」の実現に向かって行動してくれることが、豊かな未来をひらく鍵のひとつではないでしょうか。

☆「市民のねがい」は、表紙参照。

### 「市民のねがい」

夏休み応募作品

小学校低学年の部・最優秀賞

松澤奈菜さん(高階小・2年)



審査員のコメント

「ひき山のいきおいがすばらしい！ ななおの元気な人たちがよくかけています。」

# 今月の市民相談

☎男女参画まちづくり課 ☎53-1112

相談の種類	主な内容	場所	相談日	時間
行政困りごと相談	国・県・市などの行政機関に対する意見や要望など	本庁 市民相談室	毎月第1～第4月曜日	10:00～12:00 13:00～15:00
市民くらしの相談	日常生活の困りごと、人権相談		毎月第1～第4水曜日	10:00～12:00 13:00～15:00
法律相談 ※注1	借家・借地・金銭貸借・多重債務・相続・離婚などの法律問題		11月16日(金) 12月7日(金)	13:00～15:00
登記相談 (予約制・先着順)	相続・登記・財産管理・多重債務・土地の境界について		11月22日(木)	13:00～15:00
消費生活相談 ※注2	悪質商法などの消費トラブル		毎週月～金曜日 (※金曜日は特設相談日)	9:00～17:00
行政・市民くらしの相談	行政相談、人権相談、日常生活の困りごと	さつき苑、中島市民センター、能登島総合健康センター	11月20日(火)	13:00～15:00
女性なんでも相談	女性の悩み・DVなど (電話相談有り ☎52-7830)	パトリア5階 フォーラム七尾	毎月第1～第4 火・金・土曜日	13:00～17:00

☎ミナ、クル2階 子育て支援課 ☎53-8419

結婚相談	結婚に関する相談	ミナ、クル2階 第1相談室	11月13日(火) 27日(火)	13:00～15:00
児童・ひとり親・女性相談	養育・家庭生活・DVなど	ミナ、クル2階 第1相談室、各市民センター	毎週月～金曜日	9:00～17:00

※注1 申込者多数の場合、抽選のため前週水曜日までに予約が必要です。

※注2 消費生活相談では、毎週金曜日に「専門相談員」による特設相談日を開催しています。お気軽にご相談ください。

冬が近づいているからか、最近ハロウィーンの祭りについて考えています。

ハロウィーンは、毎年10月30日に行われる行事で、その起源は、二千年以上にさかのぼります。日本のお盆と少し似ていて、その日だけ、亡くなった人が生きている人と交流できるというものです。しかし、ハロウィーンの場合は、安らかに死んだ人は、現世へ戻ることに興味がないので、現世に未練がある死者しか帰りません。

現代のハロウィーンは、子どものための祭りに変わりました。それはもちろん、子どもたちが幽霊や魔女や化け物に興味があるから



東部中学校での授業の様子です。

です。イギリスの親は、ほぼ全員が子どもたちのために家でハロウィーンの飾り付けをします。特に「ジャック・オー・ランタン」は人気です。それは、怖い顔に刻んだかぼちゃの中に灯りを入れ窓辺に置くものです。祭りの日、暗くなると子どもたちは、グループで付近の家に行つて「トリック・オア・トリート」と言い、お菓子をもらいます。もしお菓子をもらえなかったら、子どもは、その家にいたずらをします。しかし、子どもたちにとって知らない人と話すのは少し危ないので、最近はお親に付き添われて行きます。

私たちがしてきたいたずらに比べると今の子どもたちのいたずらは随分穏やかになったなあと感じます。



## 国際交流 コラム

### ハロウィーンタイム

七尾市外国語指導助手(英国)

### アンドリュース・デイヴィス

